

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

総合工学システム学科	系・コース
	エレクトロニクス
職階	氏名
教授	前田篤志

項目	取組状況
教 育	<p><u>担当科目</u> 電磁気学 I (3E)、電磁気学 II (4E)、卒業研究(5E)、工学特別ゼミナール I (専攻科1年)</p> <p><u>担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</u> 電磁気学 I および電磁気学 II において、講義→演習→小テストを单元ごとに繰り返すことで学習内容の定着を図っている。また、期間内の学習内容を確実に復習できるよう、定期テストでは小テスト複数回分から類似問題を出題している。</p> <p><u>特記すべき教育方法の実践例</u> 工学特別ゼミナール I (専攻科1年)において ChatGPT を活用した学術論文調査方法を指導している。</p>
研 究	<p><u>研究業績</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術講演会での発表 <p>松本敬、前田篤志:汎用的な動的4次元データ描画システムの構築、Virtual Conference 2023、2023/12</p>
社会貢献	

教育・研究などへの取組状況(令和4年度)

総合工学システム学科	系・コース
	エレクトロニクス
職階	氏名
教授	前田篤志

項目	取組状況
教 育	<p><u>担当科目</u> 電磁気学Ⅰ(3E)、電磁気学Ⅱ(4E)、卒業研究(5E)、知的所有権(専攻科2年)</p> <p><u>担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</u> 電磁気学Ⅰおよび電磁気学Ⅱにおいて、講義→演習→小テストを单元ごとに繰り返すことで学習内容の定着を図っている。また、期間内の学習内容を確実に復習できるよう、定期テストでは小テスト複数回分から類似問題を出題している。</p> <p><u>特記すべき教育方法の実践例</u> 知的所有権(専攻科2年)において最新の創造的問題解決手法である「TRIZ理論」による発想法を指導した。</p>
研 究	<p><u>研究業績</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術講演会での発表 1)堀光希、前田篤志:複合現実感を用いた力学情報の可視化、電気関係学会関西連合大会、2022/11 2)松本敬、前田篤志:VRを用いた4次元ユークリッド空間内における動的オブジェクトの可視化、電気関係学会関西連合大会、2022/11
社会貢献	/

教育・研究などへの取組状況(令和3年度)

総合工学システム学科	系・コース
	エレクトロニクス
職階	氏名
教授	前田篤志

項目	取組状況
教 育	<p><u>担当科目</u> 電磁気学 I (3E)、物質科学(3E)、基礎研究(4E)、卒業研究(5E)、工学特別ゼミナール I (専攻科 1 年)、知的所有権(専攻科 2 年)</p> <p><u>担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</u> 「構造化アブストラクト」の手法を用いて卒業論文要旨の英語での記述を指導した。</p> <p><u>特記すべき教育方法の実践例</u> 知的所有権(専攻科 2 年)において最新の創造的問題解決手法である「TRIZ 理論」による発想法を指導した。</p>
研 究	<p><u>外部資金獲得状況</u> 共同研究: 冷凍・冷蔵設備に係る要素技術の開発</p>
社会貢献	<p><u>公開講座・出前授業の取組状況</u> 公開講座: 電源につながなくても動かせるワイヤレス給電の秘密!</p>